

第21回 小樽雪あかりの路

❖開催期間 2月8日(金)～17日(日)

「小樽雪あかりの路」が国土交通省主催「平成30年度手づくり郷土(ふるさと)賞」の大賞部門グランプリを受賞しました。今回は、各会場の見どころやイベントについて紹介します。

❖詳細 小樽雪あかりの路実行委員会事務局(観光振興室内) ☎04111内線267、FAX041118600

1 運河会場

運河の水面に浮かぶ約200個もの浮き玉キャンドルや、散策路を照らすスノーキャンドルが幻想的な雰囲気を演出します。

また、思い思いのメッセージを紙コップにつづって明かりをともし「メッセージキャンドル」などが、訪れる人々をロマンチックな世界へといざないます。

2 手宮緑会場

ワックスボウルが宙に浮かんでいるような「ワックスボウルの森」や、海外ボランティアや企業・団体などによるチームオブジェエリアなどがあり、さまざまな企画が訪れる方々を魅了します。

3 朝里川温泉会場

川のほとりや川の中にキャンドルの明かりがともり、川の流れとともにゆらゆらと動く幻想的なシチュエーションを楽しめます。写真愛好家が集まる人気の撮影スポットです。

4 天狗山会場

前回から「山の会場」として準メイン会場の仲間入りをした天狗山会場。山頂にある天狗山神社や展望台へと導くろうそくの明かり、そして森林の中に浮かび上がるオブジェの明かりが風に揺られ、幻想的な雰囲気を演出します。

また、展望台から眺める小樽市街も雪明かりに包まれ、冬の小樽夜景とのコラボレーションをお楽しみいただけます。

5 小樽芸術村会場

前回、「芸術の会場」として準メイン会場の仲間入りをした小樽芸術村会場は、彫刻家が制作したオブジェにろうそくの明かりがともる芸術性の高い会場となっています。また、小樽青年会議所広場の滑り台も製作され、大人から子どもまで楽しむことができます。

6 あかりの路会場

町内会や商店街、学校など市内約40カ所で、市民の皆さんが思い思いの雪あかりを演出します。各会場では、ミニイベントやホットドリンクの無料配布など独自の催しが行われ、訪れる人を歓迎します



❖バックヤードツアー

「小樽雪あかりの路」開催時間前に、「おたる案内人」の資格を持つボランティアガイドが会場を案内します。オブジェ作りやろうそくの点灯作業などを見学することができ、「小樽雪あかりの路」の裏側や奥深さに触れることができます。

❖スタンプラリー「地上ノホシサガシ12」

会場および市内8カ所に設置されたスタンプを押して応募していただくと、抽選で小樽の特産など素敵な賞品が当たります。

❖雪とあかりのオブジェコンテスト

「小樽雪あかりの路」期間中に自宅や町内会、企業などで「雪とあかり」をテーマに作り上げたスノーオブジェを写真撮影し、応募してください。

なお、他薦での応募も可能ですが、作成者にコンテスト内容などについて了承を得てください。

❖愛のフォトコンテスト

イベントの様子や街並み、風景、人物などを写真撮影し、応募してください。入賞作品は、翌年のポスターなどに採用される場合もあります。

❖ボランティア募集

「小樽雪あかりの路」は、多くのボランティアの協力によって運営されています。ボランティアが担当するのは、オブジェやスノーキャンドル作り、ろうそくの点火と消火、パンフレットの配布などです。



ボランティアに参加することによって、一味違った「小樽雪あかりの路」を楽しむことができます。ボランティア同士の交流で仲間づくりもできますので、興味のある方はぜひ参加してみてください。

【参加方法】事前の申し込みは必要ありません。2月8日(金)～17日(日)の期間中、午後1時以降に、文学館・美術館1階にある「小樽雪あかりの路」実行委員会本部内のボランティア受付へお越しください。なお、屋外での作業が大半ですので、防寒服・長靴などのご用意をお願いします。

同時開催：第10回冬の小樽がらす市

市内のガラス工房などがガラス製品の展示販売や制作体験を行います。また、ガラス工房の作家による「限定チョコレート・サンテリアンに寄り添う器コンテスト」を開催します。投票に参加した方の中から抽選で器のプレゼントもありますので、ぜひご来場ください。

とき：2月9日(土)の午後5時～9時、10日(日)の午後5時～9時、11日(祝)の午後5時～8時30分

ところ：運河プラザ3番庫

❖詳細 小樽がらす市実行委員会事務局(産業振興課内) ☎04111内線263、FAX041117432

